

入学生代表挨拶

厳しい寒さも和らぎ、やわらかな春風に心華やぐ季節となりました。今日は、私たちのために、このように盛大な入学式を挙行していただきましたこと、大学院新入生を代表し、関係者の皆様にご心より御礼申し上げます。

私は昨年度までの四年間、環境工学の分野において専門知識と技術を修得し、学問の研鑽に励んで参りました。また、講義や研究活動を通じて、一つの課題に対し多角的な視点を持ち、深く考察することの重要性を学びました。そして今、さらなる知識の探求と高度な研究を遂行するために、本大学院への進学を決意いたしました。

さて、現代社会には、解決すべき多くの課題が存在しています。私がこれまで学んできた環境の分野においても、地球温暖化による気候変動やゴミ問題、土壌や水質の汚染、生物多様性の喪失など、多くの課題が山積しています。これらの課題に対し、環境と工学の視点から科学的に考察し、より良い未来の創造に寄与するため、研究に真摯に取り組み、知識と技術を磨き、社会に貢献できる人材となるべく精進してまいり所存です。

結びに、本学の「建学の精神」を胸に刻み、学識を深めていく私たち、諸先生方並びに本学関係者の皆様からの温かいご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。新入生一同それぞれが、志す未来へ向かい、一歩ずつ着実に歩むことをここに誓い、新入生代表の挨拶とさせていただきます。

令和八年四月二日

大学院生代表

工学研究科 修士課程

環境計画学専攻

川原

瑞季